

第22期第12回常任理事会議事録

日時 昭和58年11月21日(月) 09:50~12:30

場所 気象庁観測部会議室

出席者 岸保, 松本, 松野, 竹内, 河村, 増田, 村山, 杉村, 田宮

議事

1. 昭和59年度予算案の審議について

担当理事が欠席のため、次回に持ち越しとなった。

2. 日本気象学会国際学术交流委員会の設置について

全国理事の投票の結果、賛成 23, 白票 1, 棄権 3 で設置が承認された。委員には、次の方々をお願いすることとなり、第1回委員会が11月28日(月)に開催され、事業計画、活動方針などが検討されることとなった。

(委員長) 山元龍三郎, (副委員長) 松本誠一, (委員) 清水逸郎, 関口理郎, 森安茂雄, 原田 朗, 浅井富雄, 田中正之, 竹内清秀, 松野太郎の各氏, この外にメンバーが強化される予定。

なお、理事長から、この委員会で下記数値予報シンポジウムの日本での開催にあたっての問題について、IAMAP の問題とも兼ね合わせて、検討方要請があった。

3. 本学会、第23期役員選挙管理委員会事務の委嘱について

慣例によって、気象庁予報部をお願いすることとなった。

4. 山本賞候補者推薦委員会委員の委嘱について

規定によって、59年度は「気象集誌」編集委員長 松野太郎理事が担当することになり、委員には、次の方

方をお願いすることとなった。

武田喬男, 新田 勲, 横山長之, 浅野正二, 金光正郎, 坂上 務, 田中正之, 中島暢太郎, 内田英治, 池田 学

5. 1986年 WMO 主催、数値予報シンポジウムの日本開催について

岸保理事長から、WMOからの要請の概要が説明され、審議された結果、

1) コスポンサーの件については、受け入れることとなり、具体的なことは、学术交流委員会に付託する。

2) 理事長が、国内組織委員会に参加する。

3) 国際プログラム委員会に、学会が代表を出すこととなり、松野理事をノミネートすることとなった。

6. その他

ア. 日中交流の問題についての理事長の中国への返信について、国際学术交流委員会で、その文案を審議願うこととなった。

イ. 講演企画委員会の委員の交替について、東京管区気象台松田能臣氏に代わり、同台渡部文雄氏が承認された。

ウ. 故 黒岩大助会員(元 北大, 低温研教授)の追悼文、有明書房からの「第四紀研究」の出版の「天気」への掲載がそれぞれ了承された。

エ. 庶務担当 荒井 康理事が病気のため、当分の間、増田善信理事が担当することとなった。

承認事項 平松信昭ほか4名の新規会員の加入が承認された。

(26頁より続く)

ので、それも当然かも知れないが、会話力の不足から、ふっかけようと思った議論も躊躇しがちだったということ考えると、言葉の勉強も非常に大切だと思われる。今年の Hamburg はとても暑かった。その暑い夏を、

人生の最も暑い時期に体験できて、とても幸せだった。今回の総会では、学問的内容そのものより、それ以外の面で得られたものが多かった。駅前の安ホテルから通い続けたこの2週間の経験は、これからの自分の研究生活にとって、きっと大きなものとなるであろう。